

「子供の性格や特性を、内面まで深く感じ取って寄り添ってくれる先生方がたくさんいる」——それが一番の決め手でした。森や草原、畑といった自然環境が揃っているのも魅力でしたが、何より「この子をちゃんと見てくれる」と感じられたことが大きかったです。

入園を検討する中で先生方にお会いした際、子どもがとても楽しそうに笑っている姿と、先生方の温かなご対応を見て、直感的に「ここだ」と思えたことが一番の決め手でした。また、子どもたちの自立を促す教育方針にも強く共感しました。大人の言う通りにさせるのではなく、子ども自身が考え、行動することを大切にしている。ここで過ごすことで、人としての「生きる力」が自然と育っていくのではないかと感じたことも、入園を決めた大きな理由です。

のびるねに入園した決め手

これから入園される方へのメッセージ

ゆったりとした時間が流れています。自然の中に身をおいて、子どもも大人も一緒に育っていけるような場所です。アートにお料理に音楽に、木登りなんかもできるため、今のところ習い事は必要ないかなと感じています。

「親だから～しなきゃ」「子どもにも～させなきゃ」となりがちな私たちに「子どもとの時間や生きることを楽しもうよ」と肩の力を抜かせてくれる、そんな不思議な感覚がある園です。子どもが親のそばにいてくれるのもあと何年だろう...と気づかせてもらえます。親も子どもと一緒に成長できる幼稚園だと思います。そうそう、ご飯もとっても美味しいんですよ！

幼児期に大切なことは、すべて遊びの中にあると考えています。のびるねには、あらかじめ「何ができるようになるか」という答えを示すのではなく、子ども自身がやりたいことを選び、遊びを通して学び、体得していける環境があると感じました。また、先生方が手作りの昼食を用意してくださるなど、日々の生活や食を大切にしていることも、大きな魅力でした。

入園後、先生方やあたたかい雰囲気にすぐに馴染み、お友達の姿に刺激を受けて「自分で！」と様々なことに挑戦する自立心が育ちました。どこでも裸足で元気に過ごしたり雨の日もカッパを着て楽しむなど体力もつきました。こどもたちで野菜を育てて収穫したり、蜂など虫たちとの付き合い方など日常を通した学びから「生きる力」もしっかりついていると感じます。

入園前は外であまり話さず、自分から遊び始めるまでに時間がかかる子でした。でも入園後は、家庭以外の場でも元気に遊び、自分らしく過ごす姿が見られるように。園に慣れるまでの期間が短かったのは、「ここでは自分のやりたいことを、自分の思うようにやってみていい」と感じられたからだと思います。その気持ちを尊重し、温かく見守ってくれる先生方に感謝しています

入園して感じる子供の成長

私以外には本当に誰にも懐かない娘でした。それが入園してから少しずつ慣れ始め、笑顔が増えて先生方を信頼するようになり。今では家にいる時と変わらない表情をのびるねでも見せてくれるようになり、休みの日も「行きたい」と登園したがるほどです。言葉の発達がゆっくりだったのですが、毎日自然の中で思う存分遊ぶうちに、語彙もどんどん増えていきました。

身の回りのことを自分でやるのが当たり前になりました。着替え、自分の道具の片付け、必要なものを持ってくる。困った時には、「出来ないから、手伝って」と言えるなど。幼稚園では、子どもが自分で出来る工夫がたくさんされています。そして、自分でやるのを見守り、応援してくれる大人がいることが子ども達の安心材料になっているのだと思います。